

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
多発性骨髄腫 Dara+Rd (7コース以降)		28日	■なし □あり
投与日	薬品名 (※赤字は抗がん薬)		
day1,8,15,22	レナデックス 40mg § ダラザレックス投与日は、投与1時間前までに内服。問題なければ15分前まで短縮可。		
day1	① カロナール 400mg, ネオマレルミンTR 6mg § ダラザレックス投与1時間前までに内服。問題なければ15分前まで短縮可。 ② ソルコーテフ 200mg + 生食 50ml § ダラザレックス投与直前 ③ 生食50mL(フラッシュ) ④ <b>ダラザレックス</b> 16 mg/kg + 生食 * 0.2μmのインラインフィルターを使用すること ⑤ 生食50mL(フラッシュ)		
day1-21	<b>レブラミド</b> 25mg  * ダラザレックスの希釈・投与速度について; 生理食塩液を用いて希釈後の総量を500mLとし、100mL/時の投与速度で点滴静注を開始。Infusion reactionが認められなかった場合には、患者の状態を観察しながら投与速度を以下のように変更することができる。 ただし、投与速度の上限は200mL/時とする。  本剤の希釈後の総量及び投与速度 投与開始からの投与速度(mL/時) 0～1時間: 100 1～2時間: 150 2～3時間: 200 3時間以降: 200		
コメント	day1-21にレブラミド25mg内服。Day1,8,15,22にレナデックス40mg内服。ダラザレックス投与1時間前までにレナデックス40mg+ネオマレルミンTR6mg+カロナール400mg内服する。問題なければ15分前まで短縮可。		

プロトコールに関する解説
プロトコールに関する解説はありません。